

平成 24 年度 研究計画書

2012-2013 Research Plan

氏名 Name	堀川 智也
専門分野 Academic Field	日本語学

平成 24 年度 研究計画 2012-2013 Research Plan

主たる研究テーマ Principal Research subject	日本語学・日本語教育学				
研究計画 Research Plan	<p>現在、世界中で使用されている、外国人日本語学習者のためのテキストは、すべて 1980 年代にできた日本語学の文法理論をベースに作成されている。このようなテキストは、30 年の時を経て、現場の日本語教師からは様々な問題点が指摘されてきたにもかかわらず、本質的に新たなテキストは作られていない。これは、いわば「日本語学」の側の研究者の怠慢とべき状況であり、「日本語学」の研究者が、真に日本語教育の現場で意味のある理論を作ってこなかったことが原因である。</p> <p>以上のような状況に鑑み、本年度は、真に日本語教育の現場に役立つ文法理論の構築をめざして、特に「受身」「使役」「やりもらい表現」「副助詞」について、旧来の日本語学での理論と全く異なる視点からのアプローチにより、新たな文法理論を構築することを目指す。</p>				
共同研究可能な分野 Fields feasible for joint research	日本語教育学	認知言語学	会話分析		
キーワード Keywords	日本語教育文法	受身	使役	やりもらい表現	副助詞